



さあ、答え合わせをしよう！

第36週目 3/29 行ってみよう～徳島県(とくしまけん)からの出題

※ココを見てね! ▶ 行ってみよう～徳島県(とくしまけん)

1. 若杉山辰砂採掘遺跡(わかすぎやましんしゃさいくついでせき)では、「辰砂(しんしゃ)」がとれました。

何の原料(げんりょう)ですか？

正解:②朱(しゅ)

若杉山辰砂採掘遺跡(わかすぎやましんしゃさいくついでせき)は、水銀朱(すいぎんしゅ)の原料である辰砂(しんしゃ)が採掘精製(さいくつせいせい)された、国内唯一(ゆいいつ)の遺跡(いせき)です。大昔から使われている色を調べてみると、朱・黒・緑・白があげられますが、中でも朱色(しゅいろ)は神聖(しんせい)な色とされていました。正解は、「お宝ベスト5」の5つ目、②朱(しゅ)です。本文を読むとわかりますが、つまり、この遺跡(いせき)は、現代(げんだい)の言葉でいいかえると、「朱(しゅ)をつくる工場(こうじょう)」だったんですね。

2. 矢野遺跡(やのいせき)から、高さが1mもある銅鐸(どうたく)が出土しました。何時代のものですか？

正解:②弥生時代(やよいじだい)

「銅鐸(どうたく)」は、弥生時代(やよいじだい)につくられた青銅器(せいどうき)の一つで、日本列島(れっとう)には米づくりとともに、朝鮮半島(ちょうせんはんとう)から伝わりました。「お宝ベスト5」2つ目にありますね。正解は、②弥生時代(やよいじだい)です。

3. 国内最古の土面が出土した矢野遺跡(やのいせき)ですが、さて、いったい何に使われたものでしょう？

正解:②まつり

矢野遺跡(やのいせき)は、道路を建設するときに、現在の地表面から2～4m下層(かそう)より発見(はっけん)された遺跡(いせき)です。1994年～1998年にかけて行われた発掘調査(はくくつちょうさ)により、たて穴住居跡19棟のほか、石棒(せきぼう)や土製品(どせいひん)などが出土(しゅつど)し、西日本最大級の縄文集落(じょうもんしゅうらく)として注目されました。正解は、②まつり に使われたもの。かわいい顔してますね。いまのところ、日本最古のものです。

4. 萩原1号墓(はぎわら1ごうぼ)から出土した銅鏡は、どんな状態で副葬(ふくそう)されていましたか？

正解:②割った状態(じょうたい)

副葬品(ふくそうひん)は、鏡(かがみ)や剣(けん)、アクセサリーなど、さまざまなものがありますが、亡(な)くなった人の地位(ちい)や立場をあらわしており、権力者(けんりょくしゃ)や有力者(ゆうりょくしゃ)であるほど豪華(ごうか)です。これら副葬品(ふくそうひん)は、長い長い年月の中で、盗掘(とうくつ)といって、すでに誰(だれ)かがもっていったりするため、そんな被害(ひがい)にあわずにみつかったものは、とても貴重(きちょう)です。正解は②、割った状態(じょうたい)でみつかりました。副葬(ふくそう)される鏡(かがみ)は、頭の周辺に完全な形で置(お)かれるのが一般的ですが、この銅鏡(どうきょう)はなぜか割(わ)られていました。いったいどんな意味があるのでしょうか？ みなさんも考えてみてください。

5. 足代東原遺跡(あしろひがしばらいせき)から出土(しゅつど)した土製品(どせいひん)は、サルと何？

正解:③イノシシ

「お宝ベスト5」3つ目にありますね。正解は、③イノシシ。土製品(どせいひん)は、縄文時代(じょうもんじだい)より後の遺跡(いせき)から出土(しゅつど)します。何に使われたのか、よくわかりませんが、「災害(さいがい)がおこりませんように」「食べ物がたくさんとれますように」…など、神さまにお祈りしようと、手作りしたようです。あるいは、赤ちゃんをあやすための人形として、作ったのかもしれませんが。動物や食べ物の形をしたものが多くみつかっていて、なんだかユニークです。くわしくは、「もっと知りたい縄文時代(じょうもんじだい)～不思議な石器(せっき)・土製品(どせいひん)」もみてね。